発行所 〒102-0083
東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
公益社団法人日本海洋少年団連盟
電　話 03(5213)4778
（年6回奇数月の1日）
購読料　1部10円（送料実費）
会員会費には購読料が含まれる
振替東京 5－13846番

海洋少年団通信

Japan Sea Cadet Federation

ち　か　い

1. 海のような広い心で団結しすべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い立派な海の子になります。

名誉総裁　年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます

本年も、皆様が、海洋少年団の活動を通じて、

海に親しみ、海に学び、心身を鍛え、

豊かな海に触れながら、環境を大切にする心を養い、

友情を大切にし、

明るく健やかに成長されることを願っております。

令和8年1月1日

公益社団法人　日本海洋少年団連盟

名誉総裁　憲仁親王妃久子

年頭挨拶

公益社団法人 日本海洋少年団連盟
会長　内藤忠顕

明けましておめでとうございます。

全国の海洋少年団の皆様には、お元気で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国大会（競技の部）が全国で開催されました。私も167名が集った東日本大会に参加し、団員の皆さんが日頃の訓練の成果を十分に発揮し、多くの仲間と交流している様子を頼もしく拝見しました。

国際交流事業では、韓国と香港の国際交流プログラムに団員を派遣し、参加団員が異国の文化に触れ、海外団との親善を深めてきました。さらに10月にはISCA（国際海洋少年団協会）年次総会を議長国として開催し、新規約の採択、新規約の下で議長（ケイマン諸島）、書記局長（米国）の選出などの成果を残しました。

本年は全国大会（式典の部）が開催されます。連盟としては、前回の経験を踏まえつつ、より良い大会にしたいと思っています。また、このタイミングに合わせ海外団を招聘し、国際感覚あふれる人材育成への取組みを進めていきます。

海洋少年団の魅力をさらに高めるべく、「海洋少年団活性化プロジェクト」が昨年スタートを切り、10月には2泊3日の乗船型海事研修を実施しました。参加者（八戸団）は青森港から津軽海峡フェリーに乗り込み、船内機器を見学し、船の構造の講義を受けました。その後、函館で札幌団と合流し、レクリエーションなどを通じて親睦を深めました。連盟としては、乗船型研修に加えて、マリン・キャンプの実施、国際交流体験を共有する「国際交流フォーラム」の開催、小型船舶免許取得の助成等のプログラムを実施し、海洋少年団活動の活性化に繋げてゆきたいと考えています。

最後に、本年が皆様にとってより良い年となりますよう祈念し、年頭の挨拶といたします。

私たちは海洋少年団を応援しています

（令和七年度賛助会員・個人会員を除く）

海事振興連盟
東京都港湾局
一般社団法人日本船主協会
日本内航海運組合総連合会
一般財団法人海技振興センター
一般社団法人日本旅客船協会
一般社団法人日本海事検定協会
一般社団法人日本造船工業会
公益財団法人日本海事広報協会
公益財団法人海上保安協会
公益社団法人日本水難救済会
石油連盟
一般財団法人港湾近代化促進協議会
有限会社海交会
一般財団法人山縣記念財団
一般財団法人東京船員厚生協会
全日本海員組合
一般社団法人日本海運集会所
国際船員労務協会
仙台湾水先区水先人会
日本水先人会連合会
内海水先区水先人会
一般社団法人東京港運協会
一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会
酒田水先区水先人会
一般社団法人日本船長協会
ジャパン マリンユナイテッド株式会社
川崎重工業株式会社
常石造船株式会社
鈴与株式会社
株式会社大島造船所
京浜ドック株式会社
三菱造船株式会社
株式会社新来島どっく
株式会社ジェネック
ヤンマーパワーテクノロジー株式会社
株式会社商船三井
川崎汽船株式会社
日本郵船株式会社
飯野海運株式会社
NSユナイテッド海運株式会社
東興海運株式会社
三菱ケミカル物流株式会社
マルエーフェリー株式会社
八馬汽船株式会社
近海郵船株式会社
栗林商船株式会社
太平洋興発株式会社
昭和日タン株式会社
三洋海運株式会社
NSユナイテッド内航海運株式会社
祝林タンカー株式会社
鶴見サンマリン株式会社
旭タンカー株式会社
上野トランステック株式会社
田渕海運株式会社
飛航丸株式会社
日鮮海運株式会社
神原汽船株式会社
邦洋海運株式会社
日本サルヴェージ株式会社
川崎近海汽船株式会社
株式会社商船三井内航
商船三井さんふらわあ
瀬野汽船株式会社
株式会社ナカタ・マックコーポレーション
瑞穂産業株式会社
NYKバルク・プロジェクト株式会社
太平洋沿海汽船株式会社
共栄タンカー株式会社
大同商運株式会社
株式会社同和ライン
正栄汽船株式会社
内海曳船株式会社
外航船舶代理店業協会
明海グループ株式会社
株式会社リンコーコーポレーション
株式会社シーゲートコーポレーション
日東物流株式会社
沖縄海運産業株式会社
株式会社ダイトーコーポレーション
北海運輸株式会社
大分臨海興業株式会社
西日本海運株式会社
株式会社 新日本海洋社
関東曳船株式会社
旭海運株式会社
東海汽船株式会社
鹿島建設株式会社
五洋建設株式会社
東亜建設工業株式会社
東洋建設株式会社
若築建設株式会社
あおみ建設株式会社
みらい建設工業株式会社
りんかい日産建設株式会社
株式会社大本組
株式会社本間組
ホクト商事株式会社
三洋商事株式会社
郵船商事株式会社
日本生命保険相互会社
日本空港ビルデング株式会社
株式会社ディグテクノプリント
株式会社ビックコーポレーション
株式会社教育新聞社
株式会社日本海洋科学
シャポーサオトメ
有限会社ヴァネッチャ企画
株式会社日向設計
日本船燈株式会社
日本フィールド&マリンエンジニアリング株式会社
郵船トラベル株式会社
mic21株式会社
（順不同）

今月の主な記事

2面　新年号特集「今年の目標」
3面　ISCA年次総会、上級指導者養成研修の開催
3面～4面　活動報告
5面　国際交流（香港）参加者感想文
6面　みどりの広場、連盟だより

日本海事センター補助事業

午年生まれの団員に 2026 今年の目標を聞きました！

清水団（静岡県）
川口　紗音恵

私の今年の目標は、手旗で満点を取ることです。

私は全体の70から80％しかとることができていないので、ケやヌなどを覚えていきたいです。それと、ロープの結び方と名前がごっちゃにならないようにしたいです。

次は中学生なので、みんなのお手本になれるように頑張ります。そして昨年より色々なことに挑戦し、失敗してもあきらめないようにします。

清水団（静岡県）
鈴木　遊人

僕は入団二年目です。好きな活動はカヌーです。清水港の海をほのぼのこいでいる時が好きです。

海には色々な船がいます。小さな小型の船や、中くらいのフェリーがいます。遠くには大きな船もいます。そんな清水港の海が大好きです。

苦手な活動は手旗信号です。なので、先ぱいはすごいと思います。僕も手旗信号をがんばります。

目白台団（東京都）
谷内　千捷

私が昨年一番うれしかったことは、絵がものすごく上達したことです。

新学年になって絵が上手な子を集めたようなグループに入っていっしょに絵をかせてもらっていました。するとだんだん絵がうまくなって、もっと描きたい！もっと上手くなりたい！と思うようになり、たくさん練習しました。

今年はさらに上手くなりたいです。

大田区音楽隊（東京）
戸崎　麗

私が昨年がんばったことは、トランペットのトリプルタンギングをとぎれないように吹くことです。

最初は上手くつなげることができなかったけれど、練習を重ねるうちに上手くつなげて吹くことができるようになりました。

これから、できるようになったことを活かして、色々な曲にちょうせんしていきながら、練習をがんばります。

中日団（愛知県）
渡邉　更紗

私が昨年頑張ったことは、九州大会に参加することができたことです。

大会会場に向かうために夜行バスに乗りました。

大会会場で以前所属の佐世保団の団員のみんなとの再会をとても楽しみにしていました。

競技では、満点をとれて、佐世保団の指導者に、入団より前からいる団員に負けないくらい成長したねと、ほめてもらいました。

今後も満点を取れるように頑張りたいです。

敦賀団（福井県）
島津　来輝

去年は、手旗を覚えるのがむずかしかったです。静岡県で行われた中部地区大会のために、がんばってあと2点足らなくて、満点にはならなかったけれど、ロープワークでは満点でメダルがもらえてうれしかったです。次の大会もがんばります！

今年は6年生になるので低学年にいろいろ教えてあげたいです。

敦賀団（福井県）
竹越　悠真

ぼくは去年、全国大会で静岡県に行きました。そこでいろんな団の人と友達になりました。

ロープワークのB競技で銀（満点）バッヂをもらえてうれしかったです。

でも、手旗信号があまりできなかったので、今年は最後までしっかり覚えたいです。

今年は6年生になるので、かっこいいリーダーになれるようがんばりたいです。

敦賀団（福井県）
今堀　咲希

今年は6年生になるので、小学校でも海洋少年団でも下級生のお手本になれるように、訓練や行事をがんばりたいです。

また、ミニバスでも、チームのみんなをしっかりまとめ、明るく元気なチームにしたいと思います。

釧路団（北海道）
田口　凛

私が昨年頑張ったことは、結索です。なぜかというと、夏の大会で合格して、バッジがほしかったからです。その結果、無事合格してバッジをもらうことができました。

今年は、手旗をたくさん練習して、スラスラ読めるように頑張ります。

敦賀団（福井県）
香川　実咲

昨年、初めて大会に参加したのですが、ロープワークは惜しく、手旗は上手にできませんでした。

なので、今年は、うまくできなかった手旗とロープワークを重点的に練習したいです。

いろんなことにたくさんチャレンジして、楽しい1年にしたいです。

三国団（福井県）
田中　悠斗

ぼくは、海上自衛隊のイベントで海洋少年団の手旗信号を見て、かっこいいと思い、去年入団しました。

ロープワークは、他の習いごとで、やったことがありますが、手旗は初めてなので、今年はがんばって覚えたいと思います。

小浜団（福井県）
伊崎　真琴

私が昨年心にのこったことは、中部大会です。ロープはやったことがないものや、手旗は完ぺきではなかったので、練習をがんばりました。本番は思っていたよりかんたんでしたが、やったことがないものもあったので、少し不安でした。

今年は6年生になるので、手旗やロープを完ぺきにして、色々なことを覚えようと思います。

神戸団（兵庫県）
井上　瑞月

私が一番頑張った訓練はカヌーです。岩にぶつからないように意識しながら、初めて一人で乗ることができました。

また、年下の団員を連れて一緒に乗った時は、とても緊張したけれど、達成感があって嬉しかったです。

これからも、仲間と一緒にロープや手旗を頑張って、いろんな訓練に参加したいです。

姫路団（兵庫県）
岸野　亘

去年は、9月に家島B&G海洋センターで、ローボートを漕いだり、ヨットに乗ったりしました。

大阪の全国大会では、関西空港の見学や手旗・ロープC級に合格しました。

今年は、手旗の文字やロープの種類をいっぱい覚えたいです。また、ヨットも自分だけで自由に動けるように、もっとうまくなりたいです。

姫路団（兵庫県）
松田　尚

去年の海洋少年団活動で、特に印象に残っているのは、9月の家島B&G海洋センターでのカヌー等の体験です。初めての4人乗りローボートは方向転換が難しかったけれど、一人乗りカヌーは漕ぎやすく、スピードも出せて気持ちよかったです。

今年の目標は、他の習いごとと両立したいし、姫路団の皆ともっと仲良くなりたいです。

姫路団（兵庫県）
森　徠翔

去年は水泳25m、手旗・ロープC級に合格できました。

ほかには五港開港の歴史を聞いたり、神戸まつりでの手旗行進をしたり大阪全国大会で関西空港も見学しました。

今年は手旗の文字やロープB級にも挑戦したいし、皆と協力して6年生として小学生をまとめていくこともしていきたいです。

福岡団（福岡県）
池田　三咲

去年は、佐世保で全国大会があった。その全国大会で私は、Aクラスの手旗とロープに加え、チーム競技でも満点をとることができた。とてもうれしかった。

今年は、中等級になる。教育級や初等級に教えたり、お手本を見せたりするなど、大変なことも多いと思うが、今の中等級以上の先ぱい方を見習ってがんばりたい。

2025年ISCA年次総会 日本開催は14年ぶり3回目

日本連盟は、10月28日から31日にかけ、東京・ホテルマリナーズコート東京において、国際海洋少年団協会（International Sea Cadet Association（以下「ISCA」）の2025年年次総会を議長国として開催しました。

ISCAは、海洋少年団員の国際交流促進・相互支援策及び交流ガイドラインの策定等を行うことを目的として1994年に設立され、日本連盟は結成以来の創設メンバーです。

日本でのISCA年次総会は、1998年横浜・東京、2011年名古屋に続き、14年振り3回目の開催となりました。

2020年のコロナ禍以降は中止や完全リモート開催を余儀無くされてきましたが、今回はハイブリッド形式で行われ、対面では米国、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、バルバドス、ケイマン諸島、日本の7ヵ国、リモートでは英国、ドイツ、カナダ、バミューダ、香港、南アフリカの6ヵ国計13ヵ国の幹部が参加しました。

4日間にわたり討論や交流が行われ、規約の大幅な改定、交流ガイドラインの見直し、準加盟国であったケイマン諸島の正会員への昇格が採択されるとともに、複数年任期の新議長（ケイマン諸島）、及び新事務局長（米国）が選出され、総会は無事閉幕しました。

総会の締めくくりとして、海運ビルにて開催されたフェアウェルパーティーには、日本連盟名誉総裁・高円宮久子妃殿下がご臨席されました。

内藤忠顕会長からは、常設事務所や常勤職員を持たないISCAが、子供たちの国際交流活性化に持続的に取り組めるよう、組織規約の改正等の成果を議長国として挙げられたことを嬉しく思うとの挨拶がありました。

また、高円宮妃殿下からは、10月に日本と同じ海に囲まれた島国であるアイスランドで開催された北極サークル総会へのご出席を踏まえ、氷解する北極海問題を取り上げ、地球温暖化や海洋汚染問題を意識しつつ、海を舞台に活躍する世界の海洋少年団が、環境への関心を高く持ち、友好と親善を深めてほしいとのお言葉が述べられました。

その後、桝野龍二副会長の発声の下、議長を務めた橋川玄国際委員会委員長の地元の銘酒「作」で乾杯し懇談が行われました。

令和7年度 上級指導者養成研修を開催

11月29日～30日、国立オリンピック記念青少年総合センターで、日本連盟主催の上級指導者養成研修を開催し、統括指導者としての指導能力向上や地区連盟主催の指導者養成研修に必要な知識の習得を目的に、全国から14名の指導者が参加しました。

研修では、海上保安大学校中野勝哉教授による「判例に基づく事故予防と危機管理について」、東京海洋大学千足耕一教授による「水辺の活動における安全管理について」、朝日新聞山田菜の花紙面担当部長による「広がれ！海っ子の輪・PR大作戦」、海上保安大学校一宮剛教授による「リーダーシップとマネジメントについて」、北里大学病院川上大輔看護師による「熱中症予防対策等について」の講義が行われました。

参加者は、子供たちを指導する際の注意点について判例を通じて具体的に学ぶとともに、海洋少年団活動を広めるためのSNSの活用法、リーダーシップやコミュニケーション、運営に関するマネジメント、さらに野外活動における熱中症対策や体調管理の重要性について理解を深めました。

後半は、研修生がグループに分かれて「団員増を見据えた活動の在り方」、「全国大会競技の部を検討する」の2つのテーマについて討議と発表を行いました。

限られた時間の中で、各団の活動や大会を振り返り、団員増の成功例を参考に意見を出し合い、時間を延長するほど活発な議論となりました。最後には、それぞれのグループがまとめた発表を行い、充実した学びの場となりました。

この研修を通じて研修生の皆さんの仲間意識が一層高まり、互いにつながりを深めながら、今後、統括指導者として活躍されることを期待しています。

今年度の受講者

八戸団　山本　忠
目黒区団　猿渡　仁
　　湯澤　江理子
小島　祥子
小野江　光剛
中日団　磯田　諭志
豊橋団　原　卓良
四日市団　加藤　正之
　　大空　英樹
小浜団　今村　昭広
敦賀団　稲川　了二
北條　正
北川　敏
佐伯団　三浦　章敬

船橋団

☆1日ハイク☆

イチョウが真っ盛りの11月30日、市内の三番瀬環境学習館で行われている「三番瀬のややこしい生きもの」展の見学に行きました。

三番瀬とは、東京湾の一番奥にわずかに残る遠浅の干潟が広がる海域です。

今回の企画展では、そこに棲む見た目や名前、生態がややこしい生き物たちを比べて見てみようというものです。

生きものが大好きな団員たちは、目をらんらんと輝かせながら見ていました。まさに「興味津々」という言葉がぴったりです。団員たちにはこのような興味をいつまでも持ち続けてほしいものです。

全国の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

愛知県連盟

☆明治村イベント☆

中日団と豊橋団の愛知県連盟は、「博物館明治村」（愛知県犬山市）で開催された第四管区海上保安本部の「灯台の日」イベントに参加しました。

イベントでは手旗のパフォーマンスを披露。

原画（げんが）を打ったり「トウダイノヒ」と送信したり、文字あてクイズを行うなど、大勢の来場者の方に楽しんでいただきました。

見学された方からは「小さいのにどうやって覚えたの？すごいね。」といった励ましの言葉をいただき、今後の活動への応援も寄せられました。

三重県連盟

☆全国豊かな海づくり大会参加☆

11月9日、天皇皇后両陛下ご臨席の下、第44回「全国豊かな海づくり大会」が三重県志摩市、南伊勢町で開催されました。

地元の南勢団と四日市団が三重県連盟で参加し、「ゆた海フェスタin南伊勢町奈屋浦漁港」で開催された関連イベントで手旗信号の送信展示を行いました。

訓練時や各自の個人練習の成果が実り、一糸乱れぬ動作で「ゼンコク ユタカナ ウミヅクリタイカイ カイサイオメデトウ」「ユタカナ ウミヲ マモルタメ ミンナデ ホウリュウショウ」と送信し、大きな拍手を頂きました。

送信後は、会場で行われた「魚つかみ取り」や、「放流行事」に参加し、楽しいひとときを過ごし帰路につきました。

福井県連盟

☆令和7年度団員交流会☆

11月9日、福井県連盟の団員交流会を実施しました。

今年は敦賀団が主管を務め、三国団と小浜団の団員が敦賀に集まりました。

午前中は東浦公民館にて、3団の団員を混成し、ペタンクや輪投げ、シャトル飛ばし、文字探しのゲームなどの「室内オリンピック」を行い、団員同士の親睦が深まりました。

午後からはみかん狩りです。敦賀は「みかんの北限」と言われ、酸味と甘味がいい塩梅のみかんが採れます。園内では時間無制限の食べ放題に加え、お土産として一袋分収穫することができました。

雨の中ではありましたが、65人の参加者がそれぞれ甘そうな実のなる木を選び、おいしいみかんを袋いっぱいに詰めて帰路につきました。

舞鶴団

☆舞鶴市ボランティアセンター50周年祭に参加☆

舞鶴市ボランティアセンター50周年祭が11月29日、舞鶴赤レンガパーク4号棟で開催され、舞鶴団も参加しました。

舞鶴団のブースでは、ロープワーク体験、パラコードを使ったキーホルダー作り、また、ステージでの手旗の披露等を行いました。

ブースには外国人の見学者も多く訪れ、キーホルダー作り体験時には団員が積極的に話しかけ、貴重な交流の機会となりました。

山口県連盟

☆水泳記録会☆

山口県連盟の岩国団、下関団、宇部団の3団は9月13日から14日の一泊二日で水泳記録会を行いました。

初日は、各団の指導者が、25m泳げる団員、不安な団員、泳げない団員の3グループに分け指導を行いました。

翌日の記録会では、25m泳げたと喜んでいる団員や100mにチャレンジして達成感を味わう団員、泳げず悔し涙を流す団員などさまざまな姿が見られました。

来年も開催する予定で、今年できたことを活かし来年は新しい挑戦に取り組んでほしいですね。

☆カッター合宿☆

山口県連盟の岩国団、下関団、宇部団の3団は、10月11日から12日の一泊二日でカッター合宿を行いました。

各団の指導者に加え宇部団のOB・OGも参加し、団員への指導を行いました。

活動は3班に分かれ進められ1班ずつ前半・後半に分かれてカッター訓練を行い、陸にいる間の班はカッターの部位などの説明を受けました。

初めて会う団員も多く、ぎこちない様子でしたが、夜のレクリエーションでは仲良くなり、最後にはまた来年も一緒に頑張ろうねと語り合う姿が見られました。

神戸団

☆初の海釣り体験☆

11月16日、神戸団創設以来初の試みとなる「海釣り体験」を須磨海釣り公園で実施しました。

これは、釣り好きの団員たちからの強い要望に応えて企画したものです。

当日は天候が心配されましたが、穏やかな好天に恵まれました。

近くでは、「神戸マラソン」のランナーたちが走る姿も見られ、そんな光景を横目に楽しい一日を過ごしました。

釣果については・・・ご想像にお任せします。

姫路団

☆姫路港フェスティバルに参加☆

10月26日、雨模様の中、姫路港において、「ふれあいフェスティバル」が開催されました。

当日は、巡視船「ぬのびき」の一般公開と各団体紹介ステージがあり、姫路団も参加しました。

コロナ禍以来4年ぶりの姫路団のステージでは、手旗信号(原画)の披露、手旗文字クイズ、ロープの実演を行い、観客から大いに好評をいただきました。

また、毎年恒例のブースでは、活動紹介のほか、制服での写真撮影、手旗・ロープ体験等を行いました。

子供たちの体験者には、文房具やペンタンシール等をお土産として配布しましたが、中でもカヌー柄のペンタンシールが一番人気でした。

新入団員は、ステージでの実演で自信をつけ、キャラクターとの写真撮影も楽しむことができ、充実した一日となりました。

高知団

☆春野海岸掃除（ウミガメ産卵地区保全活動）☆

高知団は、11月16日、高知市の春野海岸で清掃活動とマイクロプラスチック調査を実施しました。

高知県仁淀川河口の新居海岸から長浜までの高知海岸（春野海岸も含む）では、毎年5月から11月にかけてウミガメが産卵のために上陸します。そのため高知団では、ウミガメ産卵期間に合わせて5月と11月に春野海岸で清掃（産卵地区の保全活動）とマイクロプラスチック調査を行っています。

今回の清掃には、高知県下で石油・ガス製品の販売を手掛ける入交トラストエナジー(株)の職員19名と、高知海上保安部の職員5名が参加してくださいました。

今年のウミガメの上陸回数は68回、産卵回数は15回で、初産卵日は6月1日、最終産卵日は7月2日でした。（高知大学・斉藤教授からの情報提供）。

掃除の結果、ペットボトルやガラスなど計40袋（70L）を回収しました。マイクロプラスチック調査（1㎡・10分間）では、30個を確認しました。

活動後は、恒例となっているお弁当を保護者と一緒に楽しくいただき解散しました。

2025年香港国際交流 参加者感想文

「香港派遣に参加して」

清水団　中等級3級　川口　仁暉

今夏、私は香港派遣に参加させていただきました。以前に学校の研修でオーストラリアへ行った時以来の海外で、どんな雰囲気の場所なのか楽しみでしたが、結果、思いのほか日本と似たような空気感でした。雰囲気は賑やかでしたね。

ほぼ全日曇りだったのが残念です。香港の団員も、お互いに英語圏ではないのに熱心に引っ張ってくれて非常にありがたかったです。他の国のメンバーも含め、国外に友達ができたのは私にとってとてもよい経験であり、嬉しくもありました。

正直なところ、私には口に合わない料理も多々ありましたが、夜の人混みにさえ注意すれば良いところです香港は。

臨海には新しい建物が多く綺麗で、今回泊まった深水埗の様なところは古い街並みが多く、尚且つ建物が日本と比べ非常に高く、見ていて不安になるような所がありました。多くの建物の一階にあるお店は、野菜は八百屋、肉は肉屋といったような今の日本では廃れてしまった文化が残っていました。見慣れない光景ではあるのですが、この方が一つの店が一種の品物に凝る事ができて良いのではないかとも思ってしまいます。

今の日本は便利さが勝ったのですね。一応向こうにもスーパーはありましたが。

世界は広いとよく言われますが、私はいつか世界を狭く思えるようになりたい。知らない事が多いから広く感じるのです。自分の世界が広がれば対する現実は狭く感じるでしょう。これからも最大限そこへ近づいて行きたいです。

「異文化を体験して」

敦賀団　高等級2級　中島　瑞葵

この7日間は私にとって、多くの学びを得られた7日間でした。人生初の海外。フライト直前にあった三人の仲間と一人のキャプテンと共に臨む香港にとても緊張していました。

しかし、香港に到着すると、その緊張は期待に変わりました。立ち並ぶビル群や多くの露店などの日本ではみたことのない光景。そしてなにより、温かく私たちを迎えてくれた香港の海洋少年団の方々や、同じく海を渡ってきた異国の海洋少年団のおかげでとても価値のある7日間になったと思います。

香港で生活をする中で様々な体験をしましたが、特に印象に残っているのは食事についてです。香港では日本と異なり、外食がメインの文化らしく、お店に行ってご飯を食べることがほとんどでした。日本では滅多に外食をしないので、とても新鮮でした。また、味付けも異なり「甘い」と「辛い」、この二つの味が香港風の味付けということを知りました。

そして、たくさんの食べ物をみんなでシェアする食べ方が一般的だと知り、驚きました。食事中の会話を楽しむためにそうなったそうです。香港の料理店はとにかく賑やかな雰囲気がありました。

私自身の英語が拙かったこともあり、コミュニケーションが上手くいかないこともありましたが、より一層、勉学に励むとともに世界への関心が高まり、とても良い経験になったと思います。

機会があれば皆さんもぜひ挑戦してみてください。

「香港派遣を終えて」

門司団　高等級1級　杉本　虎汰朗

8月3日から約一週間、香港へ国際交流派遣に行っていた。

僕自身、海外に行くこと自体が初めてで、初めの方は、「うまくやれるかな」などと考えていたけれど、実際に行ってみたら案外どうにかなって良かったし、身振り手振りで意思疎通できて他の国の子たちとも交流を深められて良かった。

僕が初めての香港でびっくりしたのは、食事の作法などが違うのが一番の衝撃だった。

例えば、食事の前に湯呑みや小皿、箸などを熱湯で洗って食べたりすることやテーブルクロスを汚して食べることで、日本では考えられない食事スタイルで、はじめは少し戸惑いもあったけど、だんだんと慣れてきて楽しかった。

僕が一番楽しかった思い出は最終日のパーティーだ。

他の国の子たちと英語で喋りながらギフトを交換したり、料理を食べたりなどができてとても楽しかった。

日本にいても経験できなかったことが、この香港へ国際交流派遣を通してできて良かったし、また今後も参加したいと思った。

「国際交流事業に参加して」

岩国団　高等級1級　飛嶋　春翔

私は今回の国際交流事業に参加し、海外での貴重な体験をすることが出来ました。海外に行くのは初めてで、緊張や不安もありましたが、それ以上に楽しみな気持ちが大きく、この日を心待ちにしていました。

香港では、普段の生活では体験できないようなことをたくさん経験しました。毎日、施設の見学や現地の料理を味わうなど、とても充実していましたが、その中でも特に印象に残っているのは海に出かけた日のことです。

SUPをしたり、船から海に飛び込んだりといった活動に加え、小型の船で名所を巡るなど、新鮮で心に残る体験ばかりでした。

また、現地の人との交流では、自分の英語力の不足を痛感しました。知っている単語を組み合わせたり、身振り手振りを使ったり、時には翻訳に頼りながら少しずつ打ち解けることができました。これからは英語をもっと学び、よりスムーズに交流できるよう努力したいと思います。

私は人見知りなところがあり、最初は自分から話かけることが難しかったのですが、相手が積極的に声をかけてくれたことで嬉しさを感じ、自分からも挑戦することができました。この経験を通じて、一歩踏み出す勇気の大切さを学びました。

帰国後、岩国に戻る途中で新幹線が天候の影響により途中下車となるトラブルもありましたが、よく言われる「家に帰るまでが○○ですよ」という言葉を実感し、最後まで気を抜かずに過ごすことができました。

今回の国際交流事業を通じて、楽しく有意義な時間を過ごすとともに、多くの学びを得ることができました。

ぜひ、少しでも興味のある方には参加をおすすめしたいと思います。

「変わりゆく香港、変わらない香港」

清水団　団長　小杉　真弘

今回、23年ぶりに香港派遣に参加させていただきました。

偶然にも、香港団側のメイン担当者が2002年の香港派遣時と同じパトリック・ラウ氏で、意思の疎通も上手くいき、助かりました。

交流初日から、日本で言う「大雨特別警報」が出るほどの土砂降りの雨で、2日目の予定と5日目の予定を振り替えることになりました。

見学や訪問が多い交流でしたが、日本ではなかなか見ることのできない航空管制の訓練施設の見学や日本人が行かない所を観光しました。雨の影響で、団員達だけで香港のいろいろな場所を巡るオリエンテーリングができなかったことが、唯一残念でしたが、参加した団員は、思い描いていた香港とは違う香港の姿を観ることができたと思います。

私自身、以前は海だった所が埋め立てられてビルが建っていたり、更地だった所に博物館やアリーナが建っていたりと、香港の急速な変化に驚きましたが、変わらない下町の風情に懐かしさも感じました。

今回は、門司団、岩国団、敦賀団、清水団の4団混成チームでしたが、団員達は直ぐに打ち解け、楽しく過ごせたと思います。

できるならば、また同じメンバーで再び香港を訪れたいなと思った今回の香港派遣でした。

みどりの広場

「水泳記録会」

宇部団　初等級3級　岸下　能幸

ぼくは、この水泳記録会で、たくさんのことを学びました。例えば、協力することや教え合うこと、助け合うことです。ぼくが一番大切にしていることは、助け合うことです。なぜなら、助け合って人とつながるのが楽しいからです。

この水泳記録会で、去年よりも速く泳げたり、初めて班長になったりして、すごくきちょうな体験でした。

また、ぼくが一番楽しかったのは、飛びこみです。なぜかというと、飛ぶのが気持ちよくて楽しく、速く泳げるからです。水泳の飛びこみが前より、遠くに、速く飛べるようになっていて、うれしかったです。

レクリエーションはビンゴをしました。ぼくは甲方団長から紙をわたされましたが、中々開かなくてあせりました。ビンゴの景品は、エコバックやナップサックなどがありました。ぼくはナップサックが当たってうれしかったです。

自由時間では、班の人たちとブラックジャックをしました。面白くてとても楽しかったです。

初めての班長は、ちいさい子たちをまとめるのが難しかったです。ですが、まわりの人の助けをかりて、なんとかまとめることができました。

ご飯は、うどんや牛丼、からあげ、オムレツとつかれた体にしみわたるご飯で、すごくおいしかったです。

また、着衣水泳やライフジャケットを着たりペットボトルでうかんだりしました。着衣水泳は、水をふくんだ服がとても重くて動きにくかったです。ライフジャケットやペットボトルは、うかんで楽しかったです。

リレーはぼくと中島、山根、佐々木とやりました。みんな速くて泳ぎやすかったです。

たくさんの人と泳いで、きずなや仲を深めたくさんのことを学び、初めての班長で班の人をまとめて、楽しく、きつく、うれしかった水泳記録会で、また次も来たいなと思いました。来年もがんばりたいです。

「水泳記録会」

下関団　初等級3級　吉田　海夏

私が、がんばったこと、楽しかったことは四つあります。

一つ目は、泳ぐことです。私は、あまり泳ぐことは得意ではないので難しかったです。けれど、この水泳記録会でだいぶ上達したと思います。

二つ目は、競技です。私は25メートル泳げないので、ビート板の競技に出ました。久しぶりに泳いだのでおそくなっていました。やっぱり人間は少しの間やらないだけで、できなくなることをあらためて実感しました。

三つ目は、班別リレーです。班別リレーでは、「泳ぐ」のではなく、「走る」だったのでおもしろかったです。水の中で走る機会はあまりなかったので、むずかしかったです。一番深い所は、深すぎて顔の下の辺りがもぐってしまって大変でした。初めてやったけど、とても楽しかったです。

四つ目は、救出活動についてです。ペットボトルを使って人を助けたり、救命胴衣を実際に着てういたり、船がしずんだ時、どうしたらいいかなどを教えてもらいました。いざとなった時に覚えていれば人を助けられるので覚えていたいです。

ご飯はいつも苦手なものが多くて食べられなかったけど、今回は食べられるものが増えていて感動しました。

来年はタイムや泳げる種類を増やしたいです。これからも練習をがんばりたいです。

「まほろばに乗船して」

大阪みなと団　初等級2級　喜多　七海

先日、わたしは水素燃料電池船「まほろば」に乗船しました。

最初にこの水素燃料電池を開発した岩谷産業の方から、水素や水素燃料電池の仕組みについてお話がありました。水素はもっとも軽い元素で、地球上にたくさんあるそうです。

水から作り出せて、使うときは二酸化炭素を出さずに水に戻るのでクリーンエネルギーと言われて注目されているとのことでした。

まほろばの外観は、まんがやアニメに出てきそうな未来っぽさがあってかっこよかったです。

中に入ると、1階はガラス張りで景色が楽しめるし、すごくおしゃれな感じで、プロジェクターでは、まほろばができるまでの映像も見ることができました。

2階はデッキで広々としているし、そうだ室が見えるようになっていました。エンジン音がなく静かなことにとてもびっくりしたし、こんな船が増えたら環境にやさしいなと思いました。ただ、風が強くてゆれたので、それだけが残念でした。

岩谷産業の方からは、水素と酸素で発電させてクリーンなエネルギーだけど、コスト面や貯ぞう庫場所とかの課題があるとも聞きました。

地球温暖化防止のためにも、クリーンエネルギーの開発が進んでほしいと思いました。

お風呂は近くまでみんなで歩いて行きました。

その後みんなで夜ごを食べました。夜ご飯は祭りの屋台の様なメニューが出てきておもしろかったです。

朝ご飯はパンとおかずがあり、朝を感じるメニューでした。

夜ご飯の前に石狩遊ビーチという所にも行きました。夜はみんなで喋ったりして楽しかったです。

来年は中等2級なのでどっちも合格を目指したいです。

「大会での思い出」

釧路団　中等級1級　今井　海斗

ぼくの大会での思い出は2つあります。

一つ目は、手旗競技の検定と結索競技の検定です。

まず、手旗競技の検定では、無意味50字有意味50字の二つありました。無意味は受かりましたが、有意味は二字の脱字、一字の誤字があり合格できませんでした。

次に結索競技です。ぼくは中等級のため20種類の中から10種類をやらないといけませんでした。結索は5分以上残して合格できました。

二つ目の思い出は、みんなでご飯を食べたことやお風呂に入ったことです。

「カッター合宿」

岩国団　初等級3級　高杉　なるみ

私は、下関団、うべ団とカッター合宿に参加しました。

一日目はまず移動してうべ港に行きました。久しぶりのカッターで最初は全然うまくいかなかったけど、なれてきたら楽しかったです。

こいでつかれた後、二日目のカッターは一日目よりもキツくてすぐ手が痛くなったけれど、げんかいがくるまでがんばりました。

私は今回の合宿で仲良くなれた子がたくさんできたので、次の合宿でもたくさんの人となかよくなりたいです。

次はさげんが出来るようになりたいです。来年がたのしみー。

「カッター合宿」

下関団　中等級2級　中尾　海珠乃

私は、今年、初めてカッターを漕ぎました。

訓練の日も漕ぐ機会があったけれど、けがをしていて乗るだけでした。2日目の参加だけだったけれど、一所懸命がんばりました。

私はいつも右舷を漕いでいるけれど、今年は左舷にも挑戦しました。はじめはオールにもっていかれたけれど、何回か漕いだら少しだけ、漕げるようになりました。

最初のほうは、日も出てなく、少し風があって漕ぎやすかったです。

最後のほうは、日が出て風もなくなって、10月とは思えない暑さでした。

オールを、もうちょっと倒したり手をくっつけたり基本なことやコツまで先生に教えてもらいました。

今でも、オールが流されたり途中で休憩したりしちゃうけど、高校生になったら最初から最後まで漕ぎ切って先輩みたいに教えられるくらいまで上手になりたいです。

「大会の思い出」

釧路団　教育級3級　今井　一葉

わたしの大会の思い出は、ロープワークと、てばたしんごうの、どうバッチをもらったことです。

理由は、はじめてロープワークのバッチをもらったことと、きょねんとちがう色だったから思い出にのこりました。

二番目の思い出は、さっぽろだんと花火をしたことです。

わたしの大会の思い出は、ロープワークと、てばたしんごうの、どうバッチをもらったことです。

理由は、はじめてロープワークのバッチをもらったことと、きょねんとちがう色だったから思い出にのこりました。

二番目の思い出は、さっぽろだんと花火をしたことです。

連盟だより

1　褒状山縣賞授与式について

令和8年3月25日(水)に特に優秀な卒団予定の高等3級団員や準指導者を対象とした褒状山縣賞の授与式を行います。各団からの推薦をお願いします。

2　令和7年度合宿研修について

令和8年3月26日(木)～27日(金)の2日間、全国の高等2級・3級団員を対象とした研修を都内で行います。

同世代の交流を通じて活動への意識の向上や指導者の心得などを学びます。各団からの推薦をお願いします。

3　我ら海の子展展示情報

◇12月13日(土)～1月12日(月)琴平海洋博物館（香川県琴平町）

◇2月17日(火)～3月8日(日)日本郵船氷川丸(神奈川県横浜市)

◇3月19日(木)～3月31日(火)関門海峡らいぶ館（福岡県北九州市）

《直近の連盟行事予定》

◇令和8年3月13日(金)令和7年度第2回理事会

◇令和8年3月25日(水)～27日(金)褒状山縣賞授与式及び合宿研修